

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年2月28日

事業所名 児童発達支援センター 防府市なかよし園

チェック項目		はい	いいえ	解答なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスわけをしたことで朝のあつまりの人数、1度に活動する人数が減り1人1人に目が行き届くようになりました。</li> <li>・ロッカーなどで部屋を区切っています。</li> <li>・個別課題は個室を利用し、適時しきりなど工夫して行えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状を考慮して、今後に生かしていきたいです。</li> <li>・不要なものは片付け、環境整備の徹底を図ります。</li> <li>・子供達が安全に過ごすために、区切ったり構造化していく必要があります。常時、個別課題かクールダウンの場を提供するよう努めます。</li> </ul>
	2 職員の配置数は適切である	10	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の時間を取り、課題等取り組んでいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配置基準は満たしていますが、よりよい支援が行えるよう、努めていきます。</li> </ul>
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害の特性に応じて、視覚的情報伝達を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、子供達が分かりやすく、特性に合わせた支援が行えるよう努めていきます。</li> </ul>
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達の活動に合わせて、室内空間をパーティションを使って区切る等、必要に応じて調整しています。</li> <li>・エアコン、換気、空気清浄器など適時利用でき、椅子や机などを活動に合わせて整理し空間を確保しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境整備や消毒などを行いながら利用児の活動空間を快適に過ごせるように努力致します。</li> <li>・整備の改修については、早期に対応することは、困難ですが、子ども達が安全に安心して活動できるよう生活空間を整えていきます。</li> </ul>

業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画書の策定と振り返りを定期的に行っています。</li> <li>・業務上、課題が発生した時は、会議等で振り返り課題解決に努め、業務改善を図っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終礼時に振り返りを行い、課題を発見し、早期に解決していきます。</li> </ul>
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	14	0	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの意見、意向を把握し、可能な限り業務改善に努めます。</li> </ul>
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	13	0	2	アンケートや自己評価は適時ホームページにて公開され、確認できる状態となっています。(園の玄関にも掲示しています。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、ホームページにて評価の公表を継続していくと共に新しい情報の提供にも努めていく。</li> </ul>
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9	3	3		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	15	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の振り返りや事例検討などの内部研修を行い、日々支援についての資質向上に努めています。</li> <li>・内部研修や外部研修への参加を積極的に行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修への積極的参加や内部研修を定期的に行う事で、職員の資質向上に努めます。</li> </ul>
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	14	0	1	日々の状況を報告書にまとめ、計画書を作成しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援会議やケース会議、検討会議等を通して計画の見直しを行うようにしています。</li> </ul>
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	5	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠城寺式乳幼児発達検査表を使用しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修や検討会議等を行い、子どもの適応行動についてのアセスメント力をアップさせていく必要性があります。</li> <li>・発達検査については、職員の研修を取り入れ、誰もがアセスメントできる能力を習得できるように努めていきます。</li> </ul>
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	11	0	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人支援については、パズル、つみ木、指あそびボールあそび平均台トランポリンなど具体的内容を設定しています。</li> <li>・保育園、幼稚園、教育委員会等、関係機関と連携し、情報共有しながら、移行支援を行っています。</li> <li>・保護者支援についても相談等に丁寧に対応しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援ガイドラインを周知し、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」に目を向けられる様に努めます。</li> <li>・地域支援については、不十分なため、今後地域のニーズを把握しながら、支援を検討していきます。</li> </ul>

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	13	0	2		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	13	0	2	・クラス別にチームでプログラムを立てています。	・チームでの集団プログラムの中に個別活動のプログラムも取り入れていきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	13	0	2	・子どもの変化に応じプログラムを変更しています。	・様々な活動プログラムを設定していきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	14	0	1		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	12	1	1	・職員同士のコミュニケーションがとりやすい環境づくりをしています。 ・勤務上打ち合わせに入れないため、その場で役割を確認しています。	・日常でのコミュニケーションを充実させることで、日々の支援内容や役割分担を職員それぞれが自覚できるように努めます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	2	2	・終礼で支援方針が変わったり子どもの変化があった時は支援検討の時間をとり、情報を共有しています。 ・振り返りはその場で伝えたり後に報告書で伝えています。	・支援の振り返りを行い、情報共有しながら、よりよい支援につなげていきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	13	0	2	・報告書に、改善点等を記載し、職員全員で共有理解に努めています。	・支援記録は毎回行っています。支援に対して必要な時は会議を行い、改善に努めていきます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	13	0	2		
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	12	1	2		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	12	2	1	・必要に応じて行っていますが、十分とは言えません。	・今後も各関係機関と、定期的に会議などを行い、連携に努めていきます。

23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	10	2	3	・可能な限り医療的ケア児を受け入れて、担当医との連携も取るようにしています。	・病院、行政や関係機関との連携を積極的に取り組んでいきます。
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	10	2	3	・医療的ケア児や重心の児の主治医との話し合いの機会を設け、対応について助言を受けています。	・保護者の同意を得ながら、主治医や協力医療機関と必要に応じて積極的に連携を取り、体制を整えていくよう努めます。
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	14	1	0	・移行支援として、保育所や幼稚園、認定こども園等との間で情報共有を行い、相互理解を行っています。	・移行支援として、対象児童の支援内容について相互理解を深めるため常に情報交換を行なうように努めています。
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	14	1	0	・移行支援を行う担当者に対してリハビリテーション上の情報を伝えるように努力しています。 ・つながるシート(情報提供)を利用しています。	・関係機関や学校等と連携を取り、支援内容等についての情報共有や相互理解に努めています。
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10	2	3		・発達障害者支援センターからの助言を(事例検討)今年度から受けることになりました。 ・今後も外部の専門機関との連携を取り、研修や助言を積極的に取り入れていきます。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	8	3	・近隣の保育園幼稚園との交流の機会を持つように工夫していますが、コロナ禍で交流することが出来ませんでした。	・コロナが落ち着いたら、その都度ではなく定期で行なうよう、幼稚園等と調整して行きたいと思います。
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	11	2	2	・市、子ども発達支援部会にコアメンバーとして参加しています。	・現状では、常に同じ職員のみ参加しているので、今後は他の職員の参加を進めていきます。

	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	14	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者とお会いできるときは話をしよう努めています。現状の勤務では話をすることは少ないと感じます。</li> <li>・保護者との話し合いの機会を持ち、共通理解をしよう努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との話し合いの機会を持ち、共通理解をしよう努めています。</li> </ul>
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレントトレーニングは行っていませんが、保護者の相談にはできるだけ丁寧に対応しています。</li> <li>・メンター相談会や専門講師による講演会を開催し参加を呼びかけています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンター相談会や講演会への参加者が少ないので、もっと広報活動を行い、参加者を増やせるよう努めます。</li> </ul>
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に担当者が丁寧に説明しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状では、契約時に児童発達支援管理者や施設長が行っています。利用者が不安や疑問を持たないように丁寧な説明をしていきます。</li> </ul>
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	12	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援計画書作成のための日々の報告書を作成しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画については、必ず保護者に説明し同意を得て実施しています。状態が変化し計画が途中変更する場合も、その都度丁寧に説明を行い、同意を得ています。</li> </ul>
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	13	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者に対して子供の情報を伝えています。</li> <li>・職員全員が子供の情報を共有し、相談に応じるようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでも定期的に保護者の相談に対応してまいります。</li> </ul>
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	6	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会等は存在しないため、保護者の活動はありませんが、園の行事などへの参加を通して、保護者の懇談の場を設定する等の工夫をしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会はないですが、行事後の茶話会など少しずつ再開できればと考えています。</li> </ul>
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	13	1	1		

	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	14	1	0	・園だよりや保健だより、食育だより等で発信しています。	・今後も情報発信に努めます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	14	0	1	・外部に出す際には、必ず許可をもらっています。また同意書も頂いています。 ・事務所のロッカーに書類を保管し、部屋に施錠しています。パソコン上はパスワード保護しています。	・個人情報の取り扱いについては、行動基準等の読み合わせを行い、周知徹底をし、意識強化に努めていきます。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	14	0	1		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	7	4		
非常時	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	13	0	2	・定期的に訓練に参加しています。 ・保護者への訓練では、災害児の引き渡し訓練等を行っています。	・引き渡し訓練など、保護者を含めた訓練を取り入れていきます。 ・マニュアル関連について職員、保護者への周知は不十分と感じます、機会を設けていきたいと考えます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	15	0	0	・火災、土砂災害、不審者侵入に対して、定期的に訓練を実施しています。	・今後も定期的な訓練を行い、災害時に備えていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	15	0	0	・服薬内容が変更されている場合もあるため、随時確認しています。 ・入園時の情報を確認し、その後発生した症状も合わせて注意して療育に取り組んでいます。(発作等)	・毎年度、児童票の更新をしています。(児童の情報の変化)今後も利用児の状況を確認し、柔軟に対応していきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	13	1	1	・アレルギー食の提供の際には必ず指示書を提出していただき対応していきます。	・毎月の給食やおやつの提供については、保護者に必要書類を提出して頂き、栄養士、調理や職員で何重にもチェックして誤食を予防しています。

等 の 対 応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	14	0	1	・毎日、終礼時、ヒヤリハット事例を確認し、記録用紙を職員全員に回覧しています。	毎日、終礼時、ヒヤリハット事例を確認し、記録用紙を職員全員に周知しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	15	0	0	・虐待防止担当者を中心に内部研修を行っています。	・外部研修に参加した職員は、必ず内部研修でフィードバックし、虐待についての意識を高めるようにしています。 ・人権虐待防止セルフチェック表を3ヶ月毎に実施し所属等に提出したり、行動基準・倫理綱領の読み合わせ等を行い意識強化に努めています。内部研修に取り入れています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	11	0	4	身体拘束はしていません。個々に応じて環境的要因に配慮して支援しています。	・バス乗車中や重度身体障害児の椅子からの転倒防止等のために、ベルト着用する場合は、必ず計画に記載し保護者への説明を行なうようにしています。また、同意書にもサインをしています。